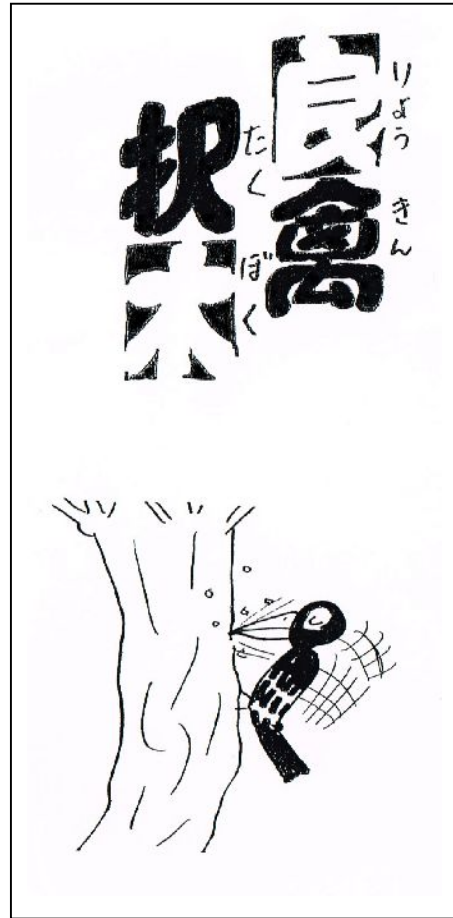


# 先週の回答



「だから、『禽』は鳥類の総称。『択木』は読んで字のごとし木を選ぶこと」「すると?」

「だから、『良禽は木を択(えら)ぶ』つまり、賢い鳥は木を選んで巣づくりをするという意味だ」

「すると野鳥は、木であれば何でもいいから巣をかけている訳じゃないんですね」

「だから、木の場所や枝ぶりを十分検討してから巣づくりをしているんだよ。何ごとにもよく吟味してから決めるのが賢い。行き当たりばったりに決めてしまうのは愚かだという忠告でもあるんだ。もともと『三国志』の中のことばだ。賢

い人は自分の主君をよく選んで仕えるということから、人は環境を選択するたとえに使われるようになったのだ」

「すると社長が社員を選ぶとか、親分が自分を選ぶとかじゃなくて、自分(または社員)のほうが自分にあつた親分(または社長)を選んだほうが双方にとってプラスになるってことですね」

「だから、そのとおりに」

「すると結婚なんかもそうですよね」

「よく吟味して選ばないと将来苦労するから、賢い男は自分にふさわしい相手を選ぶ『良男択女』でいいかないと」

「『良女択男』に失敗したの、ママは」とママ登場。



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。